

これまでに、観光列車の運行や沿線住民の鉄道利用への助成等による利用促進や、地域の皆さまのご理解をいただき、ご利用の少ない駅等を廃止したほか、国・北海道の補助制度を活用し、今後の利用促進の可能性を見出すための実証事業を実施する等、地域の関係の皆さまとともに数多くの取り組みを進めてまいりました。

これまでの間、地域の関係の皆様には、多大なご協力、ご負担いただき、利用促進・コスト削減の取り組みを進めることができたことに対して、改めて感謝申し上げます。

1 利用促進

①観光列車の運行等

- ・くしろ湿原ノロッコ号、富良野・美瑛ノロッコ号、S L 冬の湿原号、流水物語号、花たび そうや号の運行
- ・普通列車の観光列車化（景勝地での減速運転等）

②沿線住民の利用促進

- ・高校生通学定期券購入費助成
- ・東風連駅移設、「名寄高校駅」への改称
- ・沿線住民向け運賃・特急料金一部助成
- ・子供体験乗車ツアー実施
- ・定期列車を活用したスタンプラリー実施

③沿線外からの誘客に向けた取り組み

- ・沿線の魅力を発信するプロモーション実施
- ・航空会社と連携したフリーパス発売
- ・特急列車内での特産品販売
- ・むかわ竜ラッピング列車の運行



2 今後の利用促進の可能性を見出すための調査・実証事業

- 線区限定フリーパスの発売
- 繁忙期における車両増結・一部指定席化
- 様々な「くしろ湿原ノロッコ号」の運行
- 閑散期における臨時特急列車の運行
- 「富良野・美瑛ノロッコ号」のみ停車するラベンダー畑駅への普通列車停車
- 普段鉄道を利用しない沿線住民を対象としたモニター調査
- 公共交通全体の利用促進に向けた取り組み
 - ・JR定期券や「1日散歩きっぷ」で沿線のバスも乗車可能とする取り組み
 - ・JR利用者に対する沿線のバスのフリーパス購入費を一部助成



3 コスト削減

- ご利用の少ない駅の廃止、自治体による維持管理へ移行
- 一部有人駅の窓口営業時間の見直し
- ご利用の少ない踏切の見直し
- 特急「大雪」の快速化
- ご利用の少ない列車の減便



今後は新たな協議の枠組みにおいて、これまでの取り組みの成果や効果を分析・評価し、取り組みの深度化に向けて協議させていただきたいと考えております。

黄8線区 2025年度線区別収支・輸送密度

線 区	線区収支 (百万円)			輸送密度 (人/日)		
	2025年度 実績 (A)	基本指標 [2017年度実績] (B)	差異 (C=A-B)	2025年度 実績 (D)	基本指標 [2017年度実績] (E)	差異 (F=D-E)
釧 網 線 (釧 路 ～ 網 走)	△ 1,807	△ 1,497	△ 310	370	374	△ 4
花 咲 線 (釧 路 ～ 根 室)	△ 1,377	△ 1,110	△ 267	201	264	△ 63
富 良 野 線 (富 良 野 ～ 旭 川)	△ 1,415	△ 998	△ 417	1,213	1,597	△ 384
石 北 線 (旭 川 ～ 網 走)	△ 5,228	△ 4,243	△ 985	654	891	△ 237
宗 谷 線 (名 寄 ～ 稚 内)	△ 3,120	△ 2,733	△ 387	276	352	△ 76
根 室 線 (滝 川 ～ 富 良 野)	△ 1,156	△ 1,270	113	427	428	△ 1
室 蘭 線 (苫 小 牧 ～ 岩 見 沢)	△ 1,145	△ 1,233	89	303	439	△ 136
日 高 線 (苫 小 牧 ～ 鷗 川)	△ 324	△ 426	102	424	449	△ 25
合 計	△ 15,572	△ 13,510	△ 2,062			